

事業年度	平成26年度		
事業名	男井戸川ビオトープ絶滅危惧種、準絶滅危惧種保全事業		
事業実施主体	殖蓮地区自然環境を守る会	市町村名	伊勢崎市
事業成果	男井戸川周辺の刈払いの実施により、アサザの生息環境の保全が実施でき、案内看板の設置により、希少種の保護に関し市民に周知できた。		
希少種	アサザ(絶滅危惧種IA)	事業費(補助金)	578,978円 (478,978円)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>活動前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>付帯施設整備により設置した看板</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>活動後</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>活動状況</p>   </div> </div>			

事業年度	平成27年度		
事業名	南雲の里父親クラブ ヒメギフチョウ保護のためのモロコシ山整備		
事業実施主体	南雲の里父親クラブ	市町村名	渋川市
事業成果	ヒメギフチョウが生息する地域周辺の整備を行い生息環境の保護・保全を図った。		
希少種	ヒメギフチョウ(絶滅危惧Ⅰ類)	事業費(補助金)	487,328円 (487,000円)
<p>活動状況</p>      			

森林環境教育・普及啓発 実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村あたり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体あたり上限300千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	12	8	4
採択箇所数	18	14	4
事業費	7,457,700	6,612,700	845,000
うち県民基金	6,192,000	5,347,000	845,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	2	—
廃止等の箇所数	3	3	—
廃止等の事業費	900,000	900,000	—
うち県民基金	900,000	900,000	—
廃止等の主な理由	・他の事業と統合して実施したため、計画を廃止した。		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	12	8	4
実施箇所数	15	11	4
《決算額》			
事業費	5,621,950	4,786,721	835,229
県民基金	4,122,811	3,323,811	799,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

4, 1 2 3千円

- ・ 取組件数 12市町村 15事業 参加人数 2, 151人
(市町村6、学校2、NPO法人等7)

【成果】

- ・ 15の団体により延べ2,151人が参加し、森林や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 森林環境教育については、県内35の全ての市町村で実施することが可能。しかし平成26年度については12の市町村に留まっているため、今後は市町村の教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ 森林環境教育を実施しようとする学校や団体に対する緑のインタープリター等の講師の斡旋を積極的に実施し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 生徒に身近にある森林(地域教材)に目を向けさせる点で、また、森林保護に対する生徒の意識の涵養を図る上で、とても意味あるものであった。
- ・ 市町村にとっても、自然観察会を継続実施する上で、複数年にわたり継続的に支援を受けることができる制度はありがたい。
- ・ 児童や生徒に自然体験や環境教育などの教育プログラムを提供する人材の育成が必要。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村あたり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体あたり上限300千円とする) 加算措置:学校、教育関係団体が森林環境教育・普及啓発を実施する場合に、1校(団体)当たり150千円を上限として加算(ただし基礎枠を越えた場合)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【平成26年度の実績】

11,194千円

- ・ 取組件数 14市町村 31事業 参加人数 5,825人

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	12	5
採択箇所数	31	26	5
事業費	18,782,370	16,419,370	2,363,000
うち県民基金	11,889,300	10,876,300	1,013,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	12	5
実施箇所数	31	26	5
《決算額》			
事業費	17,126,506	14,661,806	2,464,700
県民基金	11,194,000	10,199,000	995,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 14市町村、31事業により延べ5,825人が参加し、森林環境や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 普及啓発活動により昨年度の約2倍の事業が実施され、参加者も5,825人となった。今後は、県内35の全ての市町村で実施することを目指し、教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ 本事業により育成した講師(緑のインタープリター)を斡旋し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 自然の中で専門の講師による教育を受けることで、生徒達の記憶に残る時間となった。
- ・ 講師の派遣を依頼できるシステムとしてほしい。

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村あたり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体あたり上限300千円とする) 加算措置:学校、教育関係団体が森林環境教育・普及啓発を実施する場合に、1校(団体)当たり150千円を上限として加算(ただし基礎枠を越えた場合)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【平成28年度の実績】

18,259千円

- ・ 取組件数 20市町村 39事業 参加人数 9,484人

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	20
採択箇所数	40
事業費	25,757,620
うち県民基金	19,738,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	1
廃止等の箇所数	1
廃止等の事業費	300,000
うち県民基金	300,000
廃止等の主な理由	事業主体より補助金を活用しない旨の申出があったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	20
実施箇所数	39
《決算額》	
事業費	24,242,047
県民基金	18,259,000

【繰越状況】

区分	合計

【成果】

- ・ 20市町村、39事業により延べ9,484人が参加し、森林環境や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 普及啓発活動により昨年度の約1.7倍の事業が実施され、参加者も9,484人となった。今後は、県内35の全ての市町村で実施することを目指し、教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ 本事業により育成した講師(緑のインタープリター)を斡旋し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の課題への取り組みを通してぐんまの自然を守るという活動の機運の高まりが見られた。
- ・ より多くの方に観察会等に参加してもらえるように周知方法の検討が必要である。

事業年度	平成27年度		
事業名	森林体験日帰りツアー		
事業実施主体	千代田町	市町村名	千代田町
事業成果	国立赤城青少年交流の家での自然体験活動を実施し、森林環境の大切さを学んだ。		
参加人数	37名	事業費（補助金）	165,504円（163,000円）

植樹体験



木工体験



事業年度	平成28年度		
事業名	太田市森林環境教育・自然観察会支援事業		
事業実施主体	太田市教育委員会	市町村名	太田市
事業成果	太田市内の中学生を対象とした赤城山での自然観察会等を通して森林環境の大切さを学んだ。		
参加人数	1723名	事業費（補助金）	3,000,000円（3,000,000円）

自然観察会



森林の公有林化 実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	3	1	2
採択箇所数	3	1	2
事業費	29,553,000	20,000,000	9,553,000
うち県民基金	14,776,500	10,000,000	4,776,500

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	3	1	2
実施箇所数	3	1	2
《決算額》			
事業費	28,642,000	19,990,000	8,652,000
県民基金	14,321,000	9,995,000	4,326,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

14,321千円

- ・ 購入面積 水源林 11.03ha 平地林 0.35ha (3市町村 3箇所)

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 公有林化によりこれまでに以上に高度な公益的機能が発揮できる森林整備(森林管理)が実施できるようになった。
- ・ 公有財産購入費以外の測量経費などについても支援してほしい。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【平成27年度の実績】

10,000千円

- ・ 購入面積 平地林 0.28ha (太田市)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	—
採択箇所数	1	1	—
事業費	33,200,000	33,200,000	—
うち県民基金	9,485,000	9,485,000	—

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	—
実施箇所数	1	1	—
《決算額》			
事業費	20,235,300	20,235,300	—
県民基金	10,000,000	10,000,000	—

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 市民が親しめる森林となるよう整備支援してほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【平成28年度の実績】

2,645千円

- ・ 購入面積 水源林 3.1ha (川場村)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	1
採択箇所数	1
事業費	6,351,130
うち県民基金	3,175,000

【事業の廃止】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	(1)
実施箇所数	(1)
《決算額》	
事業費	6,351,130
県民基金	(2,645,000)

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	1
実施箇所数	1
《決算額》	
事業費	2,646,303
県民基金	530,000

※括弧内は概算払もしくは繰越の箇所を示す。

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

--

【事業実施者・地域住民等からの意見】

--